

歴認研活動記録

歴史認識問題研究会・役員名簿（令和6年3月現在）

- 会 長：西岡 力（モラロジー道德教育財団教授・麗澤大学特任教授）
 副 会 長：高橋史朗（麗澤大学大学院特任教授・モラロジー道德教育財団教授）
 同 　　：江崎道朗（評論家・麗澤大学国際問題研究センター客員教授）
 同 　　：ジェイソン・モーガン（麗澤大学准教授）
 事務局長：勝岡寛次（麗澤大学国際問題研究センター客員教授）
 同 次長：長谷亮介（歴史認識問題研究会研究員）
 幹 事：久野 潤（日本経済大学准教授）
 監 査：島田洋一（福井県立大学名誉教授）
 顧 問：伊藤 隆（東京大学名誉教授）
 同 　　：櫻井よしこ（ジャーナリスト）
 同 　　：田中英道（東北大学名誉教授）
 同 　　：渡辺利夫（拓殖大学学事顧問・前総長）

歴認研活動履歴（令和5年9月以降）

令和5年（2023）

- 9月5日 第2回慰安婦問題日韓合同シンポジウム（於ソウル）
 西岡会長が「日本から始まった慰安婦問題」を発表（本誌掲載）
 10月5日 日本記者クラブ記者会見（長谷亮介研究員・西岡力会長）
 「日曹天塩炭鉱史料から判明した朝鮮人戦時労働者の真実」
 10月28・29日 歴史認識問題研究会公開研究会「日本統治時代における朝鮮半島の真実」
 東京・大阪二会場にて開催
 （東京会場：TIME SHARING新宿、大阪会場：ツイン21 MIDタワー）
 鄭安基「朝鮮人陸軍志願兵の真実」
 西岡力「韓国におけるアンチ反日の動きについて」
 （29日の公開研究会記録は本誌に収録）

令和6年（2024）

- 1月31日 群馬の森朝鮮人労働者追悼碑撤去を支持する声明を発表
 「群馬の森朝鮮人撤去を強く支持する」（声明文は歴認研HPに掲載）

月例研究会（非公開）開催記録（第4回～第9回）

回	日時	講師（肩書）	テーマ
4	5.9.22	飯山陽（麗澤大学国際問題研究センター客員教授）	日本におけるイスラムをめぐる誤解と実態
		長谷亮介（歴史認識問題研究会研究員）	強制動員究明ネットワークの歴史認識はどのように成り立っているか
5	5.10.20	芝田秀幹	（芝田氏の体調不良により中止）
		西岡力（麗澤大学特任教授）	日韓慰安婦シンポジウムについて
6	5.11.24	筒井正夫（滋賀大学名誉教授）	閉ざされた学問空間① マルクス主義講座派の歴史認識とGHQの占領政策 —山田盛太郎の『日本資本主義分析』を中心に 閉ざされた学問空間② 戦後「自虐＝隷従」史観の原点としての大塚史学 —大塚久雄の歴史認識を中心に
7	5.12.22	久野潤（日本経済大学准教授）	戦前日本「防共政策」史の再検討
		岡部芳彦（神戸学院大学教授）	知られざる日本ウクライナ交流史
8	6.1.26	関口高史（元防衛大学校准教授）	陸軍軍人に対する評価歪曲の構図—牟田口廉也中将の場合
		長谷亮介（歴史認識問題研究会研究員）	日曹天塩炭鉱史料から判明した朝鮮人戦時労働者の真実（2）
9	6.2.16	芝田秀幹（沖縄国際大学教授）	沖縄の祖国復帰と学生運動
		貝塚茂樹（武蔵野大学教授）	吉田満と戦中派世代